



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索



発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者 昭和大学病院長 相良 博典
編集責任者 広報委員長 中村 清吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
TEL: 03-3784-8000 (代表)

本年度をもって定年を迎えられる皆様から
ご挨拶と職員人生を表すお言葉をいただきました

定年のご挨拶

昭和大学病院 泌尿器科 おがわ よしお 小川 良雄 教授

～ご挨拶～

2021年3月31日で泌尿器科診療科長を定年退任いたします。卒業以来、外病院の出張を含め40年にわたりお世話になりました。無事に大役を終えることができるのも、教室員をはじめ、他科の先生方、外来・病棟・手術室の看護師、メディカルスタッフ、事務職員の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。昨年来、新型コロナウイルス感染症対応で昭和大学の附属病院が大活躍しています。今後の皆様の益々の発展を祈念いたしております。



～医師人生を振り返って～

私の医師人生の一言は、長い間に変遷しました。医師になるときは、泌尿器科のホームページに書いたように、患者さんに温かく寄り添って医療を尽くす「至誠一貫」の精神です。それを基に泌尿器科医として研鑽しているときは「あすなる（翌檜）」でした。翌檜の木が明日は檜になろうと努力するように、明日は今日より一歩でも知識も技術も向上させたい努力してきました。出張病院にいる頃、大学病院に先駆けて膀胱全摘と回腸新膀胱造設術を成功させたときの喜びは今でも忘れません。そして、現在の一言は「レジリエンス（resilience）」です。レジリエンスは精神的復元力とも言い直せます。医療面だけでなく、様々な困難な問題がおきたり、物事がうまく行かず落ち込んでしまうことも度々ありました。回復不能かもしれないというどん底から、なんとか回復することができました。それには、生来の楽観主義や仕事に対する使命感のみならず、素晴らしい医療の仲間（恩師、先輩、同僚、多くの教室員）、医療スタッフ、事務スタッフから医師として育てられ、仲間とともに医療を実践し身につけてきたものです。今後の医師人生はどのような表現となるか楽しみです。

定年のご挨拶

昭和大学病院 食道外科 ^{むらかみ}村上 ^{まさひこ}雅彦 教授



昭和大学とともに 46 年間、外科学講座消化器・一般外科部門教授就任後 12 年間の間、関係各位には大変お世話になりました。特に教授就任後は、品川区医師会・荏原医師会・大森医師会・蒲田医師会・田園調布医師会・玉川医師会・世田谷区医師会・渋谷区医師会・目黒医師会の 9 医師会の先生方には年 1 回開催してきました旗の台消化器センター地域連携フォーラムに常時 100 名近い参加を頂き、心が通じ合える医療連携を行うことができた感謝申し上げます。

～医師人生を振り返って～

私の医師人生は、**至誠一貫にもとづく臨床医を目指す**ことでした。大学勤務医師としての 40 年間は、Challenge・Reform・Innovation を信条とし、反骨精神・固定観念の打破・教育をそのモチベーションの糧として生きてきたつもりです。専門性という点では、一般外科医→肝臓外科医→内視鏡外科医→食道外科医の変遷の中、後半は消化器・一般外科部門の責任者として良きコンセプターに成るべく後輩指導を行ってきた人生でした。今後は、食道がんセンター長としての医師人生を送る中で、ゴールを見極めたいと思います。

定年のご挨拶

昭和大学病院 皮膚科 ^{すえき}末木 ^{ひろひこ}博彦 教授



本年 3 月をもちまして皮膚科学講座教授、診療科長を退任させていただきます。昭和大学病院・附属東病院には 29 年間お世話になりました。新人時代の本館 4 階 1 病棟はなくなりましたが、入院棟 9 階病棟→東病院 4 階病棟→藤が丘病院→東病院 4 階病棟→入院棟 9 階病棟と移動した部署をその通りに戻り、スタートした場所でキャリアを終えることができ、これ以上の幸せはありません。各部署でお世話になった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

～医師人生を振り返って～

「一期一会」

皮膚疾患の中には慢性疾患の患者さんも多く、最初の診察で満足いただけないと再来いただけません。このため「一期一会」の精神で診療に当たってきました。当時、恩師の飯島正文教授から「患者さんを自分の信者にしなければいけない」とご指導いただきました。同級生の外科医から紹介されて遠方から来院された患者さんと接していると、手術を受けた外科医への並々ならない信頼感を感じます。私自身も外科手術で救命していただいた身であり、その心情がよく理解できます。皮膚疾患では生命に直接関わるような場面はほとんどありませんが、悪性腫瘍の患者さんが亡くなる数日前に「先生に診てもらえたお陰で幸せな人生でした。私の体を先生のキャリアのために使ってください」とおっしゃられたお言葉が忘れられません。「病気ではなく病人を診よ」との先人の名言の通り、たとえ病気を治せなくても病気を持った人間として患者さんに接し、寄り添うことが医療人として大切であるとあらためて痛感致します。今後も患者さんと接する際には一期一会の精神を大切にしていきたいと考えます。

定年のご挨拶

昭和大学病院 整形外科 ^{とよね} 豊根 ^{ともあき} 知明 教授

～医師人生を振り返って～

私は 1985 年に千葉大学医学部を卒業し整形外科に入局、2005 年から帝京大学ちば総合医療センターに赴任（准教授）し翌年から教授、2015 年 4 月に現昭和大学病院附属東病院長兼整形外科学講座主任教授でおられる稲垣先生（小・中・高の先輩）にお誘いいただき、それまで客員教授を拝命しておりました昭和大学医学部整形外科学講座に赴任（教授）致しました。一昨年から脊椎外科センター長を拝命しております。当センターでは、脊柱管狭窄症・椎間板ヘルニアといった脊髄の神経の圧迫に起因する疾患に対する内視鏡手術から、首下がり・腰曲がりといった難治性の成人脊柱変形に対する矯正固定術を数多く手掛けております。特に頚椎の首下がり変形に対する前後方からの矯正固定術と、腰椎の腰曲がり変形に対する椎体の骨切り術に関しましては、誰よりもと言っても過言ではないほど早くから取り組み国際的評価を国内外で得られております。難治症例に対する経験も豊富で、本年度いずれも英文誌に論文（首下がりには昨年工藤准教授が報告）が掲載されました。



個人的にはこの 3 月に還暦を迎えます。これを機に益々精進し、昭和大学の発展に尽力してまいりたい所存です。ひきつづき皆様のご指導ならびにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

定年のご挨拶

昭和大学病院 呼吸器・アレルギー内科 ^{おおもり} 大森 ^{とある} 亨 准教授



昭和大学第一内科学教室へ入局し、呼吸器アレルギー内科学教室に科名は変わりましたが、34 年の長きに渡りお世話になりました。腫瘍分子生物学研究所に所属し、兼任講師の期間もありますが、最後の 3 年間は専任の准教授として呼吸器内科診療に従事しました。この間、諸先生方、看護師・臨床検査技師の方々、事務部門の方々など多くの人に支えられ、なんとか任務を全うすることができたと感謝しています。ありがとうございました。

～医師人生を振り返って～

私の医師としての人生を一言でいうと、「**肺がん化学療法の研究**」ということになります。1987 年に入局した当時は、抗がん剤治療が肺がん患者の余命を延長することがようやく証明されたところで、有効な薬剤、治療法の種類も限られていました。当時、抗がん剤の開発や併用化学療法の臨床研究は精力的に進められていましたが、限界は見え、打開するための新たな方向性が必要なことを痛感していました。これまでの私の研究テーマは多岐にわたりますが、それぞれの時期に、一貫して今以上のがん治療法を目指した研究を続けられたこと、その中で現在のがん治療に貢献する成果をいくつか挙げることであったことは、とても幸運だったと思っています。科学の進歩とともに医療技術は急速に発展し、それぞれの分野で治療成績も向上しています。一方で、これらの恩恵を受けられない患者が、まだまだ数多く存在することも事実です。現在の医療に満足することなく、より良い医療を行うために自身がどのようにアプローチするのか、今後も医師としてこのことを考え続けていきたいと思っています。

最後になりますが、本学の益々の発展を心から祈念しています。

今年度末にて定年退職を迎えることとなりました。1984年入職以降、薬剤師のみならず、医師、看護師、技師（検査、放射線等）、CRC、管理・医事・人事・施設・学事各課、SPD、搬送メッセンジャー、ヘルパー、監視室、守衛、薬学部、近隣薬剤師会等の各関係者の皆様、業務、教育、臨床等様々な場面でご支援、ご指導、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。皆様のご理解があって薬剤師として業務を全うできた事、重ねて感謝申し上げます。



～薬剤師人生を振り返って～

当初半年の研修期間を経て、25名中薬剤部に5名入職、女性3名は結婚・出産を機に退職し、8年目からは同期一人きり。調剤室～志願の製剤室、東病院薬局の立上げ準備～1999年東病院異動でまさかの責任者、兼眼科病棟担当。製剤室経験が非常に役立ち、大変さとやりがいを感じ奮闘の日々。2009年1月大学病院復帰後は治験薬管理を担い、生物学的製剤等現在汎用される医薬品の臨床試験（治験）に関与。2016年10月課長～2019年10月東病院～定年に至る、「**多くの失敗を糧に歩んだ薬剤師人生**」でした。

最も印象深いのは、製剤室時代の切迫早産適応の院内製剤で無事出産に至った事例。各種資料、文献検索～調製までを担った製剤投与の結果、“無事出産”との担当医からお礼の一報が偶然私の誕生日に届き、命誕生への関与に涙堪え感動した記憶です。

医療環境、薬剤師業務が日々変化する中、結果が伴わず、後進には誇れる背中ではなかったとしても、準備を怠らず、仲間意識を持ち、微力ながら私なりに超二流を目指し努めてきました。今後厳しい状況が続いても、患者中心の医療を実践すべく、皆様が力を結集し大きな成果をもたらすことができると信じています。ご活躍を心よりお祈り致します。ありがとうございました。

ご紹介

退職者のご紹介

これまでにご挨拶いただいた方以外にも、
定年退職者がいらっしゃるので、
お名前をご紹介させていただきます。

長きにわたる昭和大学病院・附属東病院でのご勤務、感謝申し上げます。

昭和大学病院

- 生理検査室 上ノ宮 彰
- 臨床工学室 色部 淳一
- 管理課 大岡 博司

昭和大学病院附属東病院

- 管理課 土岐 悦子
- 管理課 鶴崎 正二
- 薬局 名倉 美之

ご支援への御礼

品川区商店街連合会様よりお弁当をご提供いただきました

この度、品川区商店街連合会様のご厚意により品川区内飲食店のお弁当をいただきました。2月8日（月）より、8日間にわたりご提供いただき、新型コロナウイルスの対応にあたる院内各部署に配布をいたしました。

心温まるご支援を通して地域との連携がより一層深まりました。今後も地域に根差した地域中核病院としての役割を果たしつつ、日々新型コロナウイルス感染症の治療に取り組み、引き続き安全・安心な医療の提供に努めてまいります。職員一同心より感謝し、お心遣いに対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



誠にありがとうございます！



ご支援への御礼

特定非営利活動法人ジャパンハート様および株式会社一休様よりスープと洋菓子を ご提供いただきました

特定非営利活動法人ジャパンハート様を通じて、株式会社一休様のご厚意によりスープと洋菓子を ご提供いただきました。株式会社一休様の「普段から交流のあるレストランやホテルの方々と一緒に医療業界を食で支援したい」という想いから実現したこのご支援に、職員一同心より感謝し、お心遣いに対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



スープ
(株式会社帝国ホテル様から)



洋菓子やチョコレートボード
(株式会社パレスホテル様から)

お知らせ

医師の配属・異動・退職について

新規配属

2021年3月1日付

- リハビリテーション科 杉山智子

異動

【附属施設へ】2021年3月1日付

- 消化器内科 松原大（藤が丘病院へ）
- 小児外科 鳴釜ゆり子（江東豊洲病院へ）
- 小児科 中野有也（江東豊洲病院へ）

退職

【2021年2月7日付】 ●皮膚科 北見由季

【2021年2月末日付】 ●皮膚科 猿田祐輔

昨今の新型コロナウイルス感染症への対策として、昭和大学病院・附属東病院では、全スタッフが丸となり、日々、感染防止対策に尽力しております。

そのため今月のサクス！グッドプラクティスパートナーでは、新型コロナウイルス感染症の最前線で活躍している部署のスタッフへ、日頃の感謝と敬意の気持ちを込め、各部署より寄せられました感謝のコメントを掲載いたします。

発熱外来スタッフへのありがとう！

主な業務内容：外来の発熱患者さんの受け入れ(トリアージ、バイタルサイン測定、検体採取、診療介助、患者指導)など

発熱外来スタッフの皆様へ

発熱外来のみなさんの活躍・状況適応力があってこそ、病院内へのウイルスの持ち込みを防げていると思います。患者・職員の院内発生防止の貢献に感謝しています。



救急センター病棟・外来スタッフへのありがとう！

主な業務内容：救急搬送された患者の初期診察と看護など

救急センター病棟・外来スタッフの皆様へ

病院の入り口としての使命を果たすべく、院内感染の引き金にならないよう、救急センタースタッフ丸となり、日々奮闘していただいております。スタッフのみなさんは感染対策に対し、常に神経を研ぎ澄ませて業務を行っており、スタッフの努力にひたすら感謝しています。

感染管理部門スタッフへのありがとう！

主な業務内容：院内感染防止対策業務など

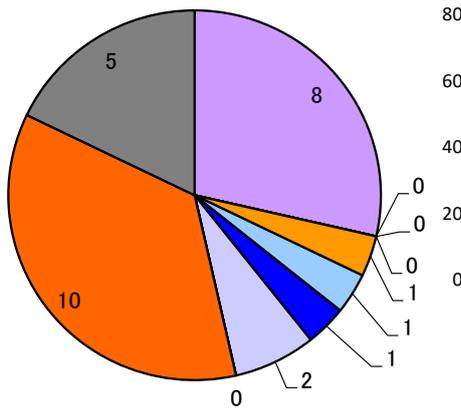
感染管理部門スタッフの皆様へ

新型コロナウイルス感染症への対応における臨床現場の環境整備や感染対策マニュアル作成など、親身になって相談に乗ってくださいました。また、スタッフが熱発したときなど、診療の手配を整えてくださったり、対応についてご指示くださったりと、本当に心強く思っています。不安の中、相談で幾度となく感染管理部門に足を運びましたが、いつも暖かく迎えてくださいました。いつもありがとうございます。

当院を受診される皆様におかれましても、新型コロナウイルス感染症防止のための取り組みに、ご理解・ご協力頂きますよう、よろしくお願いいたします。

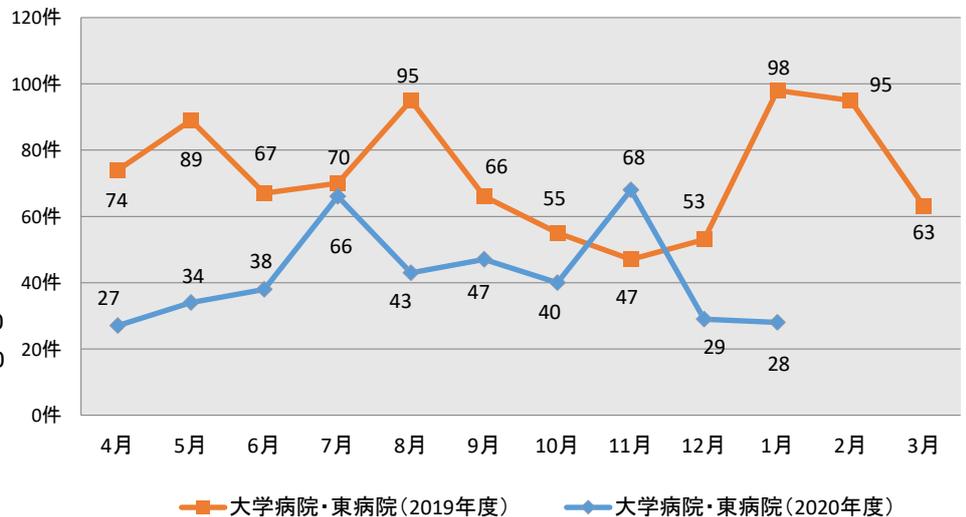
ご意見・ご要望	回答	回答部署
<p>病棟シャワー室の予約状況が分かりにくく、使用時間が守られないことがありました。ルールを知らない人に「ゆっくり使って良い」などと伝えないでください。トラブルの元になるので予約状況はシャワー室へ掲示して欲しいです。</p>	<p>シャワー室の運用が守られておらず大変申し訳ございませんでした。シャワー室の利用について統一した説明が行えるよう徹底させていただきます。また、シャワー室の入口へ予約状況を掲示させて頂くと共に、部署内でもご不便がないか確認して参ります。</p>	看護部
<p>入院中に私を担当してくれた助産師さんがとても優しく、悩んで落ち込んだ時も心から話を聞いてくれたり、色々なアドバイス等を頂いて明日の退院は自分に自信がついて頑張っていこうという糧を頂きました。私を担当してくれた方々は業務的な話し方をする人はおらず、話し方、声質、内容等、本当に癒しを頂きました。ありがとうございました。</p>	<p>この度は貴重な心温まるご意見ありがとうございます。分娩入院において、育児技術の習得や精神面への支援が安心と安楽につながり、より良い信頼関係を築けたことに対して喜びを感じています。スタッフ一同、内容について共有いたしました。今後も患者さん中心に質の高い治療及びケアが提供できるように努力いたします。</p>	看護部

2021年3月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
28件



- 態度・接遇
- 診療内容
- 予約
- 待ち時間
- 食事
- 会計システム
- 売店
- 環境(清掃・設備備品・エレベーター)
- 環境(駐車場)
- 感謝
- その他

2019年度・2020年度ご意見・ご要望の推移



2021年4月に社会人を対象とした新たな学びの場である「昭和大学リカレントカレッジ」を開校します。昭和大学病院で診療をする先生方にも講座の担当していただいております。

◆呼吸器・アレルギー内科 鈴木慎太郎先生

「自ら学ぶ「自ら守る」おとなのアレルギー・アナフィラキシーショック」

「咳を鎮める御利益を求めて～神社・仏閣に託された古のひとびとの苦悩と希望を探る～」

◆泌尿器科 小川良雄先生

「歴史に隠れた病気を探る」

春期プログラムの受講生は、3月31日までWEB又は電話でお申し込みができますので、ご興味がある方は、ぜひお申し込みください。

<https://recurrent.showa-u.ac.jp/>

TEL:03-3784-8143



編集後記

整形外科 いながき かつのり 稲垣 克記 教授

公園の木々も桜の新芽の準備をはじめの季節となりました。

緑のまぶしい春はもうすぐそこまで来ています。さて、この度は3名の臨床主任教授がご定年となります。消化器・一般外科の村上雅彦先生、泌尿器科の小川良雄先生、皮膚科の末木博彦先生におきましては永い間、昭和大学病院および昭和大学病院附属東病院における診療、教育、研究にご尽力いただき、誠にありがとうございました。われわれ医療スタッフは、先生方とこの度退職される医療スタッフに心から御礼を申し上げるだけでなく、先人の意を汲み今後も病院を訪れる患者さんの為に全力を尽くしてまいります。今後とも病院への末永いご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます、2021年3月号の編集後記とさせていただきます。

昭和大学病院・附属東病院の理念

- ・患者本位の医療
- ・高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- ・患者さんと共にチーム医療を実践する。
- ・特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- ・教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- ・人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆様が読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員： 稲垣 克記、入山 洸希、大江 克憲、岡崎 靖子、五藤 哲、佐々木 仁美、
嶋村 弘史、鷺見 賢司、富田 英、中村 清吾、安田 光慶、山岸 昌一、吉田 仁、
渡辺 愛理、渡邊 聡（50音順）